

East Marginal Way 舗装・安全性向上

プロジェクト概要

シアトル市交通局 (Seattle Department of Transportation: SDOT) は、East Marginal Way Sの1st Ave Sからシアトル/タクウィラ市境までの区間を再舗装します。市の舗装・安全性向上プロジェクトでは、劣化した路面を修繕し、貨物輸送や公共交通ニーズに対応します。本工事により、道路の耐用年数は10~20年伸びます。また、East Marginal Way Sの通行がさらに快適になります。

プロジェクトの立案段階では、Georgetown Mobility Study、Seattle Transportation Plan、Duwamish Valley Action Planなど、過去の計画策定の取り組みに基づく提言を検証しました。地域からは、East Marginal Way Sをより安全に横断できるようにすること、自転車レーンと車道の分離、自転車レーンと他の自転車専用道との接続が望まれています。本プロジェクトでは、この交通コリドー（主要幹線道路）において次の安全性向上策を提案しています：

- ・ 車、トラック、バスと歩行者、自転車利用者、車いす等の利用者を分離し、衝突事故を減らす。
- ・ 右左折車両の速度を抑制する。
- ・ 能力の違いに関わらず、自転車・徒歩・車いすなどでこの交通コリドーを安全かつ快適に通行できるようにする。

プロジェクトのスケジュール

2025年夏：初期設計

2025年秋：設計

2027年初旬：工事

2027年秋：完了

プロジェクトの背景

毎年、市は劣化した幹線道路を舗装し、安全性と走行性を高め、その耐用年数を延ばしています。交通網を良好な状態に維持することは、将来の保守管理費用の削減につながります。市は、道路の舗装状態、交通量、地理的公平性、費用、助成金の活用機会、地域内の他のプロジェクトとの連携などに基づき、舗装の優先順位を決定しています。



QRコードをスキャンするか、次のURLをご覧ください：

seattle.gov/transportation/EMarginalPavingandSafety



予算

本プロジェクトは、SDOT (シアトル交通局) の幹線道路アスファルト・コンクリート舗装プログラム (Arterial Asphalt and Concrete (AAC) Paving Program) の一環です。舗装プロジェクトの設計および建設は、2024年11月にシアトル市民によって承認されたシアトル交通税 (Seattle Transportation Levy) によって資金提供されています。本プロジェクトは、ピュージェットサウンド地域評議会 (Puget Sound Regional Council: PSRC) の保全助成金を受けています。追加のパートナーシップ資金は、共有利用道路 (Shared Use Path) や自転車保護レーン (Protected Bike Lanes)、Vision Zero (交通事故による死傷者ゼロ) 対策、歩道修繕、公共交通の改善に充てられます。

今後の予定

今後2年間の設計と工事期間を通じて、引き続き情報を継続的にお知らせします。詳細についてはプロジェクトのウェブページをご覧ください。登録するとメールで最新情報を受け取ることができます。ご質問がある場合は、メールでプロジェクトチーム (emarginalpavingandsafety@seattle.gov) までご連絡ください。

プロジェクト情報・お問い合わせ

パブリック・エンゲージメント・リード、リサ・ハリソン (Lisa Harrison)
ウェブページ: seattle.gov/transportation/EMarginalPavingandSafety
Eメール: emarginalpavingandsafety@seattle.gov | 206-775-8719



Seattle
Department of
Transportation

プロジェクトによる改善内容

貨物輸送

East Marginal Way Sは貨物輸送車両で混雑する主要幹線道路であり、本プロジェクトではアクセス保全を図ります。道路の再舗装に加え、貨物輸送面の改善対策には次の内容が含まれます：

- ・ 法定規格を超える車両の走行を含め、貨物輸送の運用を維持する。
- ・ 交通コリドー全体で車両と歩行者・自転車利用者を分離する。
- ・ 信号機の灯器部分をアップグレードし、視認性を向上させる。
- ・ 右左折専用の信号フェーズ(時間)を設け、道路利用者の進路が交わらないようにする。
- ・ 交通センサーを補修または交換し、信号制御を改善する。
- ・ 排水設備を設置または改良する。

安全対策

East Marginal Way Sの安全性は、地域の皆さまから寄せられた最も大きな懸念の1つであったため、本プロジェクトでは Vision Zero (交通事故による死傷者ゼロ) に向けた安全性向上対策として、次の内容を提案しています：

- ・ 北西行きEast Marginal Way Sから北行き4th Ave Sへのスリップレーン(信号待ちなしで曲がれる専用車線)を撤去し、右左折車両の速度を抑えるため幅広の縁石を設置する。
- ・ ジョージタウンの住宅街の南端に接する、4th Ave SからEllis Ave Sまでの南行き車線を2車線から1車線に減らす。
- ・ 側道にハード化センターラインを設置し、右左折時の速度を抑制する。
- ・ 交通コリドーの信号機をアップグレードし、安全性を向上させる。
- ・ 主要交差点にコンクリート縁石バルブ(歩道張り出し部)を設置し、視認性を高めるとともに右左折時の速度を抑制する。

自転車の通行

市の気候目標の達成、自転車ネットワークの隙間の解消、そして交通コリドーにおける自動車と自転車の分離を推進するため、自転車関連の改善策には、次の内容が含まれます：

- ・ S River StからCorson Ave SまでのEast Marginal Way S北側に、プレキャストコンクリート製バリアで仕切られた幅10フィートの双方向自転車専用保護レーンを設置する。
- ・ Georgetown〜South Park Safetyプロジェクトで整備中の通行道の延長として、Corson AveからFlume TrailまでのEast Marginal Way S北側に、幅11フィートの歩道レベルの共有利用道路(Shared Use Path)を設置する。
- ・ 16th Ave Sからシアトル/タクウィラ市境界付近まで、プレキャストコンクリート製バリアおよびフレックスポストを用いた進行方向別の自転車保護レーンを設置する。
- ・ East Marginal Way Sと4th Ave Sの南側交差点部に、将来整備されるS River St上の自転車ルートに接続する双方向自転車横断を設置する。
- ・ East Marginal Way SとCarleton Ave S/8th Ave Sの北側交差点部に、双方向自転車横断を設置する。
- ・ 新しい自転車レーンをサポートし、利用者間の衝突を減らすため、専用の右左折フェーズを備えた信号機にアップグレードする。

歩行や車いす・スクーター等での通行

歩行者の利便性や地域間のつながりを向上させるため、歩行者改善対策には次の内容が含まれます：

- ・ 交通コリドーの共有利用道路(Shared Use Path)が提案されていない区間の歩道を修繕する。
- ・ 縁石スロープを点検し、ADA(障害を持つアメリカ人法)に準拠するよう改修する。
- ・ 交通コリドーに音声・視覚・振動による情報を提供する「アクセシブル歩行者信号(Accessible Pedestrian Signals)」を設置する。
- ・ 主要交差点で歩行距離を短くし、視認性を高めるために縁石バルブ(歩道張り出し部)を設置する。

公共交通

公共交通のニーズとサービス向上に対応するためのEast Marginal Way Sの再舗装に加え、バス改善対策には次の内容が含まれます：

- ・ S Webster St/14th Ave Sの南行き停留所に、シェルター(屋根付き待合所)と照明設備を備えたバスバルブ(バス停車用スペース)を設置する。
- ・ S Ellis Stの北行きバス停留所をアップグレードする。
- ・ 交通コリドーの歩道を補修し、バス停へのアクセス向上のためにADA(障害を持つアメリカ人法)準拠の縁石スロープを設置する。